

MONOist DX & AI Forum 2025

開催日 : 2025年12月10日(水)～12月12日(金)

一次申込締切 : 2025年10月3日(金)

最終申込締切 : プラチナプラン…2025年11月11日(火)

全リストプラン…2025年12月3日(水)

開催概要



名称	MONOist DX & AI Forum 2025 ～製造業DXの未来とAIの可能性～
開催日	2025年12月10日(水)～12月12日(金)
一次申込締切	2025年10月03日(金)
最終申込締切	プラチナプラン：2025年11月11日(火) 全リストプラン：2025年12月3日(水)
申込者数	想定500名 ※過去開催の実績値に基づく想定値のため、 実際には開催するテーマ数などに応じて前後する場合がございます
想定視聴者属性	製造業におけるDX推進担当、IT企画、経営企画、 設計・開発・生産管理・業務改善などに携わる実務層／管理職層 ※特に「工場×IT」「バックオフィス×業務効率」「AI導入検討層」 が中心
イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント
ご協賛プラン	プラチナプラン 280万円 全リストプラン 210万円
主催・企画 告知・集客	
運営	アイティメディア株式会社

企画のポイント

セッション1：工場DX（IoT、データ活用、AI）の実践

キーワード

#IoT #センサデータ #AI活用 #スマートファクトリー #予知保全 #設計支援AI など

視聴者が抱える課題

- IoTは導入済だがデータ活用が進んでいない など

セッション2：本当に使えるERPを考える

キーワード

#ERP #クラウドERP #SaaS #マスターデータ管理 #業務横断 #データ基盤 など

視聴者が抱える課題

- 各業務に個別システムが存在し、データ連携ができていない など

セッション3：できることから始める製造業DX&AI

キーワード

#SaaS #クラウド活用 #労務管理 #脱・Excel
#脱・紙業務 #現場改善 など

視聴者が抱える課題

- DXに関心はあるが、何から始めればいいのかわからない など

※一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性があります。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

類似イベント開催実績



名称	MONOist DX Forum 2024 -製造業の革新に迫る3日間-
開催日時	2024年12月11日（水）～12月13日（金） ※12月22日（日）までアーカイブ配信
対象	製造業のモノづくり関連職
主催	MONOist
全申込者数	680名
視聴者数	506名
申込みページ	https://members14.live.itmedia.co.jp/library/Nzg2MjA%253D?group=MONOistDX2024
開催報告書	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-01-21/2d1tp6v

基調講演

◆製造現場においてデジタル変革の一步を踏み出すためには

ダイハツ工業株式会社
DX推進室 デジタル変革グループ長（兼）
東京LABOシニアデータサイエンティスト
太古 無限 氏

◆三菱電機のデジタル基盤“Serendie”

三菱電機株式会社
執行役員 DXイノベーションセンター センター長
朝日 宣雄 氏

◆SMDG：スマートマニュファクチャリング構築ガイドラインとは

経済産業省
製造産業局 製造産業戦略企画室 室長補佐
稲垣 敦史 氏

株式会社日本能率協会コンサルティング
デジタルイノベーション事業本部 本部長 シニア・コンサルタント
毛利 大 氏

協賛 (※50音順)

- アイエフエスジャパン株式会社
- アステリア株式会社
- 株式会社インターネットイニシアティブ
- Verkada Japan株式会社
- NECソリューションイノベータ株式会社
- キャディ株式会社
- 京セラコミュニケーションシステム株式会社
- SAS Institute Japan株式会社
- JFEスチール株式会社
- 株式会社システムインテグレータ
- 株式会社SmartHR
- 株式会社T Project
- 株式会社データ・アプリケーション
- 株式会社電通総研
- 株式会社日立製作所、
- 富士フイルムデジタルソリューションズ株式会社
- マーケットワン・ジャパン合同会社
- 株式会社MONO-X
- Wrike Japan株式会社
- レノボ・ジャパン合同会社
- 株式会社ワン・オー・ワン

製造業DXをさらに推進する「MONOist DX & AI Forum 2025」

製造業DXをさらに前進させる「MONOist DX & AI Forum 2025」

製造業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みは、現場の可視化やIoTの導入などから着実に進化してきました。一方で、昨今の生成AIやクラウド活用の加速により、製造業のDXにも“新たなフェーズ”が求められています。

こうした背景のもと、MONOist DX & AI Forum 2025では、従来のDX推進に加えて、AIやデータ活用による実践的な変革をテーマに掲げ、製造業が次に進むべき方向性を明らかにしていきます。

2023年に初開催された本フォーラムは、2024年にテーマと規模を拡大。3回目となる2025年は、**DXとAIの融合(AI活用や、生成AIを使うことを視野に入れたDX)**に焦点をあて、「工場DX (IoT・データ・AI)」「本当に使えるERPを考える」「できることから始める製造業DX & AI」の3つの視点から、多様な製造業企業のニーズに応える情報を提供します。

本イベントを通じて、製造業における“現実的で実行可能な変革”を支援し、協賛企業様にとっても最新技術やソリューションの価値訴求ができる場を提供します。

1.工場DX (IoT、データ活用、AI) の実践

工場のIoT活用／スマート化

【対象領域】

IoT活用、データ活用、セキュリティ対策など、工場・生産領域に関する課題

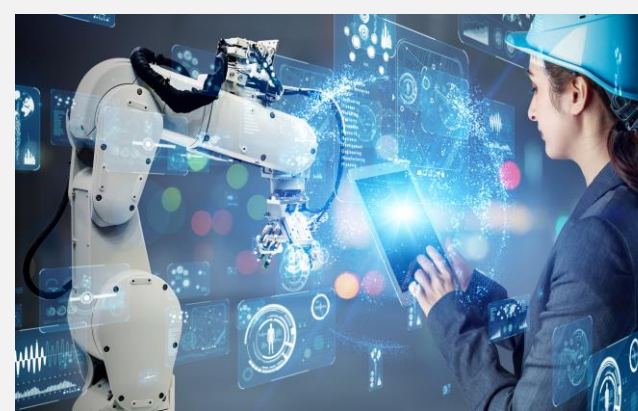


2.本当に使えるERP(データ基盤)を考える

製造DXを実現するデジタル基盤

【対象領域】

各業務領域の情報を統合し、製造業のDXを本質的に進展させるためのデジタル基盤の構築



3.できることから始める製造業DX & AI

製造DXのはじめの一步を踏み出す

【対象領域】

ペーパーレス化や労務管理、業務効率化など、まず取り組みやすいIT/DXの活用・導入



セッション1

工場DX（IoT、データ活用、AI）の実践

製造業における現場DXは、IoTやセンサによるデータ取得に加え、その先の活用と自動化が求められる時代に入っています。本セッションでは、工場の可視化・最適化・省人化を実現する具体的なソリューションや事例に加え、AIの導入による分析・判断支援の実践展開までを幅広く取り上げます。

また、AIを今すぐ導入しない企業にとっても、「いずれ活用するための土台づくり」や「既存データをどう活かすか」という視点で、DX初期段階から一歩進んだテーマまでカバー。

製品・サービスを現場に浸透させたい企業にとって、自社技術の実用価値を訴求できる最適な場となります。

キーワード

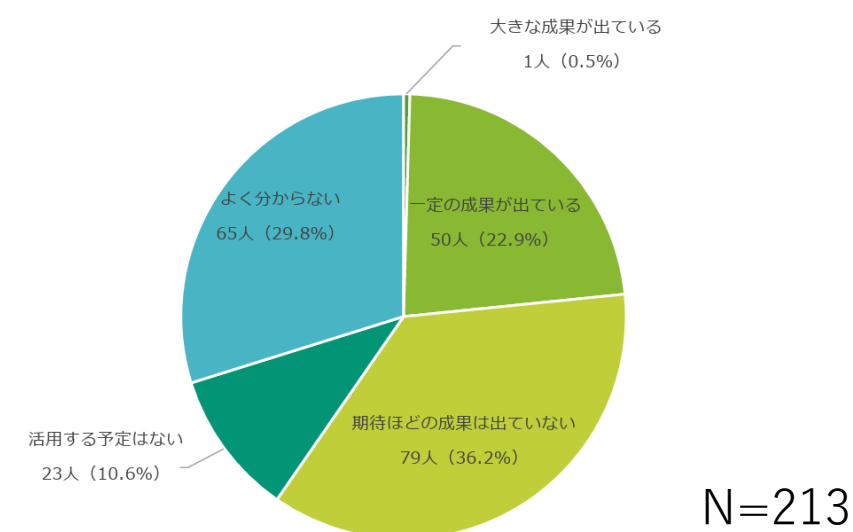
- # IoT
- # センサデータ
- # AI活用
- # スマートファクトリー
- # 予知保全
- # 設計支援AI
- # 生産予測
- # 品質改善
- # 脱・紙運用
- # 現場の見える化
- # 人手不足対策
- # 属人化解消
- # プロセス最適化

視聴者が抱える課題

- IoTは導入済だが、データ活用が進んでいない
- 製造現場の改善が個人依存・属人化している
- AI活用に興味があるが、どこから手を付けるべきか分からない
- AI導入に必要なデータ整備や環境が不十分
- 他社の事例や導入プロセスを参考にしたい

MONOist DX Forum 2024より参加者アンケート結果

Q.貴社において、工場のDXについての進捗について



- 効果が出ている活用方法や事例に注目
- スマート化やDXの解決となるヒントをお届けします

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

セッション2

本当に使えるERPを考える

AIを活用した高度な製造業DXを実現するには、業務や組織を横断した“つながる”仕組み、すなわち堅牢なデータ基盤が不可欠です。本セッションでは、開発・調達・製造・販売・経営までの各領域における業務統合を支えるERPやクラウド型基幹システム、SaaS連携の活用、そしてマスターデータ整備やセキュリティ課題といった**ERPを“AIを活かす土台”として考える視点**から、製造業のDXを根幹から支えるアプローチを取り上げます。“AIありき”ではなく、“AIも使えるようにするための基盤づくり”を軸に、システム提供企業・基盤ソリューション企業様にとって、**ERP導入や刷新を訴求できる絶好のステージ**です。

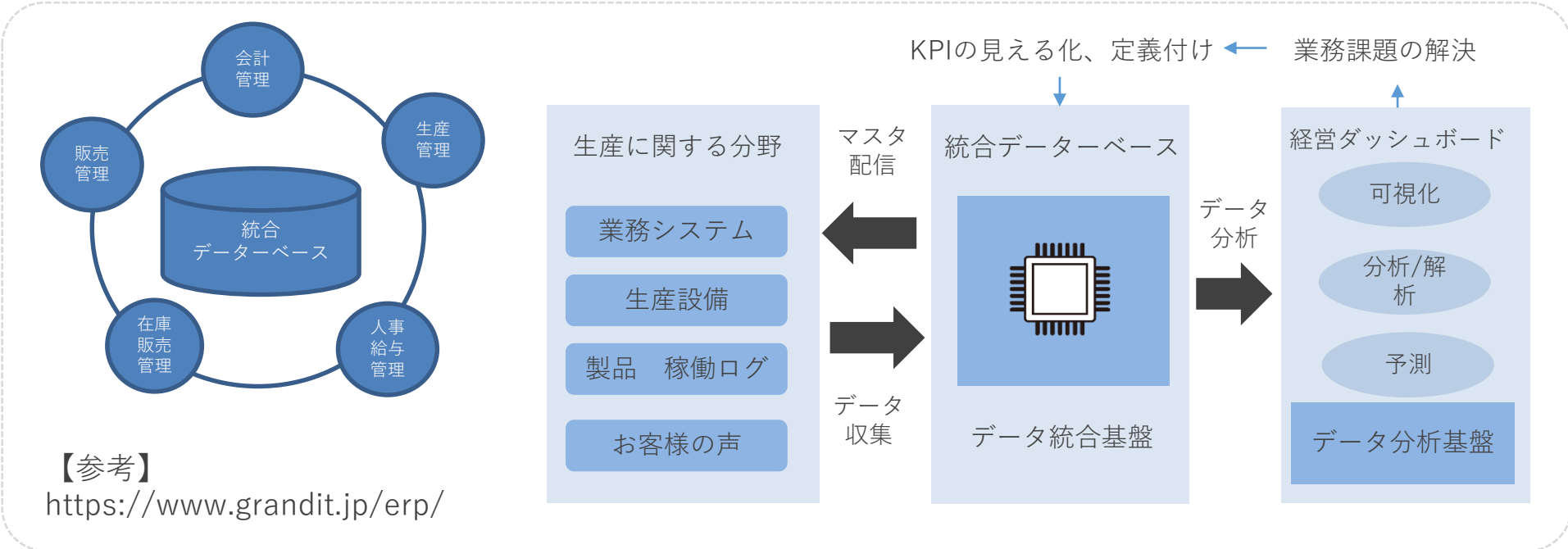
キーワード

- | | | | | |
|-----------|-------------|------------|------------|---------------|
| # ERP | # マスターデータ管理 | # データ連携 | # AIを活かす土台 | # 経営ダッシュボード |
| # クラウドERP | # 業務横断 | # 業務最適化 | # セキュリティ対策 | # サプライチェーン可視化 |
| # SaaS | # データ基盤 | # 基幹システム刷新 | # 属人化の排除 | |

視聴者が抱える課題

- 各業務に個別システムが存在し、データ連携ができていない
- ERPが導入済みだが、現場で使いこなせていない
- 形骸化しているAI活用や高度分析に取り組みたいが、前提となる基盤やマスタ整備が追いついていない
- データが部門ごとに分断され、経営判断や現場改善に活かせていない
- クラウド移行やセキュリティ、システム更新の優先順位が不明確で判断に迷っている
- 他社のスモールスタートや導入プロセスの具体例を知りたい

ERP、データ基盤のイメージ



※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

｜ セクション3

できるところから始める製造業DX & AI

DX推進に課題を抱える製造業の多くが、「どこから着手すべきか」「何を選べばいいのか」で立ち止まっています。本セクションでは、紙管理からの脱却、業務効率化、クラウド/SaaS導入、労務管理のデジタル化といった**“今すぐ取り組めるDX”**を起点に、**将来的なAI活用にもつながる実践的アプローチ**を紹介します。

AIをすぐに導入しない企業でも、“AIに備える”という視点での改善や、現場のデータ活用に向けた準備として、導入障壁の低いITソリューションの価値を訴求できます。

中堅・中小企業やDX未着手層との接点拡大を狙いたい企業様にとって、最も現場感のある訴求が可能なセクションです。

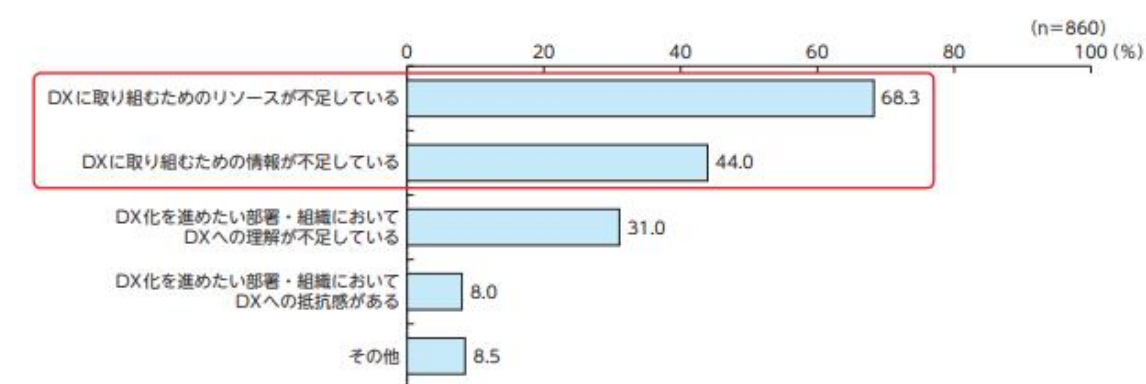
｜ キーワード

- | | | |
|-----------|---------|-------------|
| # SaaS | # 脱・紙業務 | # 業務効率化 |
| # クラウド活用 | # 現場改善 | # RPA |
| # 労務管理 | # 簡易DX | # AIのための前準備 |
| # 脱・Excel | # コスト削減 | # 教育・意識改革 |

｜ 視聴者が抱える課題

- DXに関心はあるが、何から始めればいいのか分からない
- 初期投資や人材不足で高度なシステム導入は難しい
- 業務の紙管理・属人化が進んでいる
- クラウド/SaaSを活用したいが不安がある
- 他社の「小さく始めた成功例」を知りたい

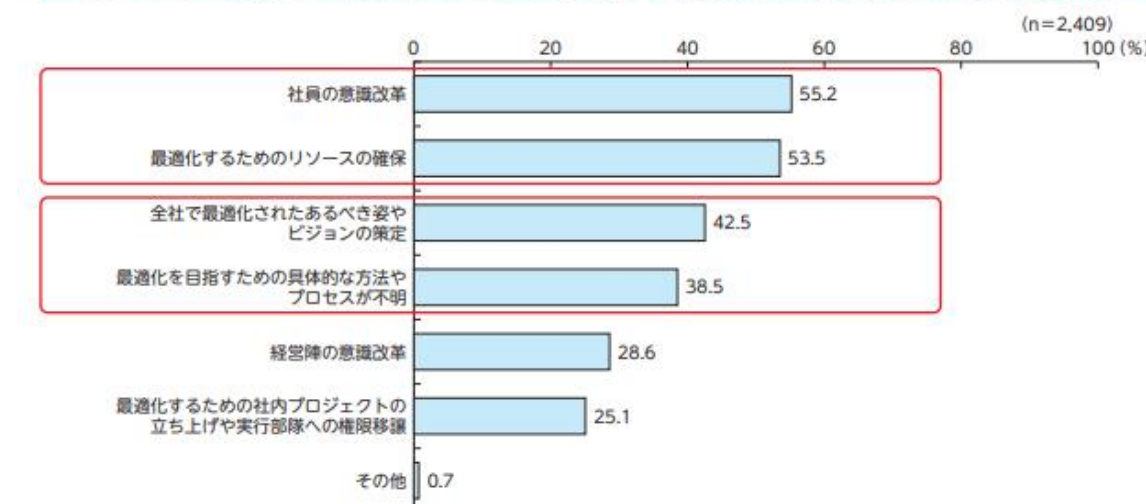
図 521-4 DXに取り組んでいない又は成果が出ていない理由



備考：複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）「令和5年度製造基盤技術実態等調査（我が国ものづくり産業の課題と対応の方向性に関する調査）報告書」（2024年3月）

図 521-5 事業部・組織の壁を越えた業務・意思決定の最適化を図る上での課題



備考：複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）「令和5年度製造基盤技術実態等調査（我が国ものづくり産業の課題と対応の方向性に関する調査）報告書」（2024年3月）

※出典：経済産業省 [2024年版ものづくり白書（ものづくり基盤技術振興基本法第8条に基づく年次報告）](#)より

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

		12月10日(水)	12月11日(木)	12月12日(金)
時間	枠時間	工場DX（IoT、データ活用、AI）の実践	本当に使えるERPを考える	できるところから始める製造業DX & AI
13:00-13:40	40分	基調講演1	基調講演2	基調講演3
13:50-14:20	30分	スポンサーセッション 1-1 DAY1-1-S101	スポンサーセッション 2-1 DAY2-2-S201	スポンサーセッション 3-1 DAY3-3-S301
14:30-15:00	30分	スポンサーセッション 1-2 DAY1-1-S102	スポンサーセッション 2-2 DAY2-2-S202	スポンサーセッション 3-2 DAY3-3-S302
15:10-15:40	30分	スポンサーセッション 1-3 DAY1-1-S103	スポンサーセッション 2-3 DAY2-2-S203	スポンサーセッション 3-3 DAY3-3-S303
15:50-16:20	30分	スポンサーセッション 1-4 DAY1-1-S104	スポンサーセッション 2-4 DAY2-2-S204	スポンサーセッション 3-4 DAY3-3-S304
16:30-17:00	30分	スポンサーセッション 1-5 DAY1-1-S105	スポンサーセッション 2-5 DAY2-2-S205	スポンサーセッション 3-5 DAY3-3-S305

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

デジタルイベント協賛予約システム



ご協賛企業様、代理店様から直接デジタルイベントへのご協賛をお申込みをいただけるようになりました！
申込可能な協賛枠や企業様のご協賛状況をリアルタイムで視覚的に確認可能です

ご予約はこちらから▶ https://techlive-itmedia.resv.jp/direct_calendar.php?direct_id=68

| ご協賛枠の予約受付完了までの流れ ※ 従来通り弊社営業担当経由でのご予約も可能です



| カレンダーの見方



| ① ご利用ガイド

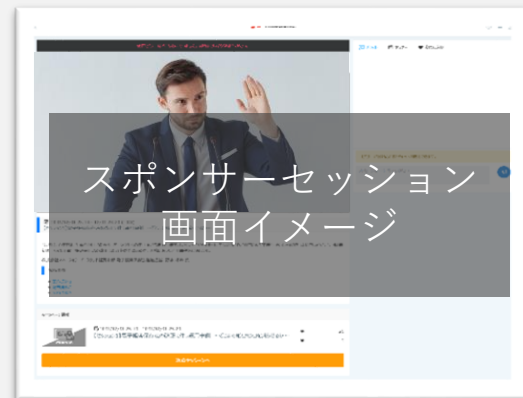
- ご協賛を決定いただいたお客様
 - ・ 順次入稿シートをご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。
- 仮押さえ有効期限について
 - ・ ステータスが仮押さえの枠の期限は、お申込みから14日間です。期限を超過すると枠は自動でキャンセルされます。
 - ・ ひとつのイベントにつき、予約者が同時に予約できるのは最大で3枠までとさせていただきます。4枠目の予約を希望される場合は、すでに予約されている3枠のうち1枠をキャンセルしていただく必要があります。
 - ・ 他の企業様がお申込み、仮押さえをされる可能性があります。必要数だけの仮押さえをお願いいたします。
 - ・ 仮押さえから本予約へのステータス変更はシステム上でこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。
- キャンセルに関して
 - ・ キャンセルはお問い合わせフォームまでご連絡ください。担当者がご対応いたします。
 - ・ イベント企画書に掲載のキャンセル規定に基づき、キャンセル料が発生する場合がございます。
- 予約の変更に関して
 - ・ 予約完了後送られてくる予約受付メールに、URL、予約番号、確認コードの記載がございます。そちらからシステム上でこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

	プラチナプラン	全リストプラン
	セッションでサービスや商品のアピール可能 当社でも一番人気のプランです。	セッションの準備は難しいご協賛社様が、 手軽にリードを獲得できるプランです。
スポンサーセッション	●	-
セッションアンケート	●	-
資料配布	●	-
視聴者リード（全件納品） ※アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象となります。	●	-
全申込者リスト（全件納品）	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●
事前アンケート結果	●	●
開催報告書	●	●
リスト件数（すべてのリスト合計数）	500件想定	500件想定
備考	*リスト件数は想定数です *申込締切日までの協賛状況によって、プランは変更になる可能性があります	
料金（すべて税別・グロス価格）	¥2,800,000-	¥2,100,000-

※お申込者数は想定値となります。
※ご協賛状況により、実施を見合わせる場合がございます。事前のご了承、およびお申込み締切にご協力頂けますようお願いいたします。
※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。
※別途料金にてオプションもお申込みいただけます。

| スポンサーセッション

- Live配信＋アーカイブ
- 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能。



| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせる自由設定可能。
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。

※セッションアンケートの実施はLive配信時のみとなります

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。
- 配布点数：ご講演資料＋3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

| 視聴者リード

- 貴社セッション視聴者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報

※DL可能

※アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象となります。

| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。
- 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。

※イベントによって幕間スライドでのロゴ掲載を行わない場合がございます。

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供。

※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

| 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアンケートを実施 集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供。
- 個人情報は含まない集計データでの提供。

※画像はイメージです。

貴社のスポンサーセッション動画は、TechLIVE by ITmediaにも掲載いたします

①デジタルイベント開催

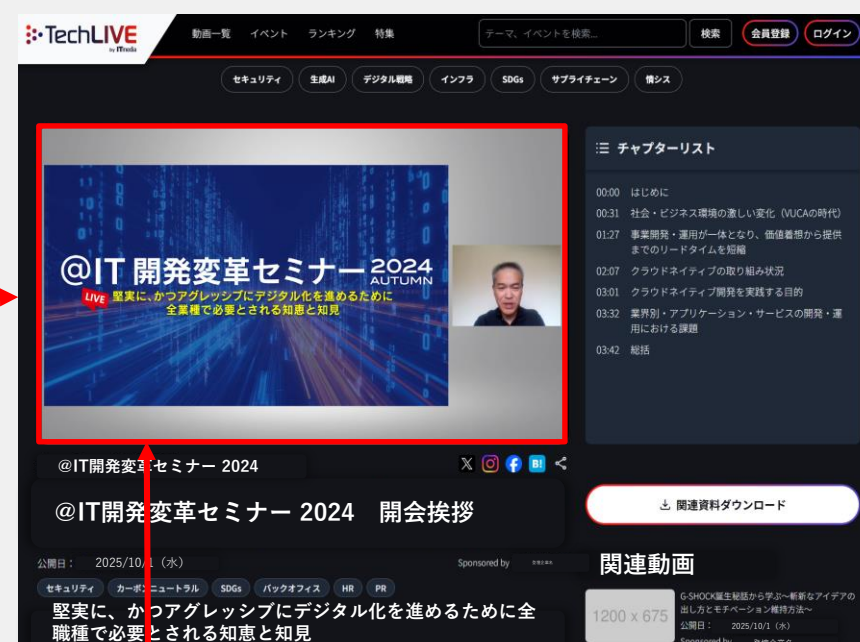
スポンサーセッション動画



イベント終了後
TechLIVEへ転載

②TechLIVEへの掲載

TechLIVE by ITmedia



③ITmediaの各媒体
から誘導を実施



④視聴者リードの
ご提供も可能



TechLIVE
by ITmedia

2025年10月
オープン

「今を動かすテクノロジー」を 深掘りする動画プラットフォーム



専門編集者による番組コンテンツ企画



テクノロジーの現場を映像で分かりやすく深掘り



視聴者リードの獲得が可能

[詳細はこちら](#)

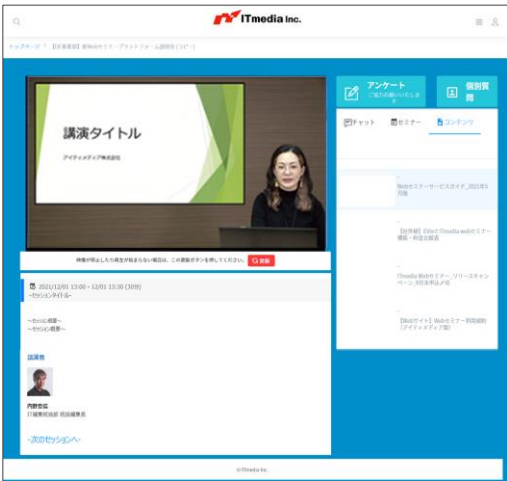
- TechLIVEへの講演動画掲載について
 - 掲載をご希望されない場合は、イベント協賛時に、事務局担当者までご連絡ください。
 - ご連絡がない場合は、下記の内容に従い掲載いたします
- 掲載対象動画
 - 2025年10月以降に当社主催デジタルイベントでご講演いただいたスポンサーセッション動画（産業DXパートナーシップ系は対象外になります）
- 掲載開始時期
 - 2025年10月以降にご協賛いただくイベントが終了し次第順次
- 掲載費用
 - 無料（掲載にあたり、追加費用は発生いたしません）
- 動画の取り扱い
 - 原則、イベント開催時に配信した動画をそのまま掲載いたします（動画本編の編集等はいたしません）
 - 一部の動画では視聴者に分かりやすい動画になるよう、冒頭にダイジェストムービーや、編集部による解説動画等を挿入する場合がございます。（対応の有無および内容は当社に一任いただきます）
 - 掲載した動画は、基本的に期間制限なくTechLIVE上に掲載されますが、取り下げをご希望の場合は申請いただくことで掲載を終了することが可能です。
- 視聴者のリード情報について
 - 視聴者データ（リード情報）のご提供はございません。
 - リード情報の納品をご希望の場合は、別途商品をご用意しておりますので営業担当にお問い合わせください。

イベントで配信したセッション動画を二次展開し、さらなるリード獲得にご活用いただけます

本イベント
セッション登壇付きプラン

スポンサーセッションを通じて、当該テーマで情報収集中の読者に対し貴社メッセージを訴求いただけます。

▼スポンサーセッション配信画面イメージ



セッション動画活用
リード獲得

本イベントご講演動画1本＋貴社ご所有の関連コンテンツ1～2本を弊社メディア内に掲載し、閲覧者のリードを提供します。（マスク化して設置し、閲覧時に個人情報提供の承諾を取得）

▼コンテンツ紹介画面



▼コンテンツ閲覧画面
(動画の場合)



※詳細は[こちら](#)をご覧ください。

【例】

プラチナプラン		セッション動画活用リード獲得
プラン名		
リード提供数	500件想定 ※イベントによって変動します	100件保証
料金（税別・グロス価格）	¥3,700,000-	

| 貴社セッションmp4動画納品

閉幕3か月後まで

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式。
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

| セッション収録サポート

開催日1.5カ月前まで

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます。

料金 **¥200,000～**

| リード情報×主催アンケート回答情報付与

開催日1週間前まで

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
- 開催日1週間前までのお申込み必須。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000～**

| 納品リストへのABMデータ追加

開催日1週間前まで

- アイティメディアでのコンテンツ閲覧状況进行分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn

料金 **¥200,000**

| リード カスタム納品

開催3営業日前まで

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。
- お申込みまでに納品条件の確定が必要です。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金はリード件数によって変動

| ブランディング施策

開催2か月前まで

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金 **¥500,000**

| アフターフォローセミナー

開催日1.5カ月前まで

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

料金 **¥2,500,000**

| テレマーケティング

開催日3週間前まで

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件～
- 期間：3～4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000～**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

セッション動画活用リード獲得

閉幕2か月後まで

- 講演動画や資料をTechFactoryに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性＆件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvr>

建設業向け：¥1,300,000

製造業向け：¥1,100,000

料金 **¥900,000**

レポート記事配信（ターゲットへプッシュ型で配信）

記事配信希望日の6週間前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。（アーカイブ掲載あり）
- 業種、職種、企業名など狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

タイアップ プッシュ ターゲティング & ABM 15,000通～

料金 **¥1,000,000～**

レポート記事掲載（広範に読者を記事へ誘導）

掲載希望日の1.5か月前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- モノづくり・建築などの産業テクノロジー関心層が多く集まるメディア横断でタイアップ記事への誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvk>

産業テクノロジーメディア横断 PV保証タイアップ 3,000PV保証

料金 **¥1,200,000**

セッションパンフレット作成（製造・建設関連）

開催日1週間前まで

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載（2,000PV保証）
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvv>

産業テクノロジーメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証
パンフレット制作（PDF/x納品）

料金 **¥1,200,000**

CM動画放映スポンサープラン

開催日3週間前まで

- 各基調講演(主催者セッション)開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。

料金 **¥300,000**

パネルディスカッションパッケージ コンテンツ二次利用

開催日3週間前まで

- 弊社にお任せいただいたパネルディスカッションパッケージで作成したコンテンツを主催イベントに再利用。
- 通常30分間のスポンサーセッション枠を2枠ご提供。過去制作した60分間のコンテンツをそのままお届け。
- 新規でコンテンツ制作を行わずに更なるリード獲得が可能。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-17/2czbqt5>

※価格・割引率をご協賛イベントによって変動いたします。

料金 **¥3,000,000**

カスタムパーミッション掲載

開催3営業日前まで

- 貴社の規定に合わせたパーミッションを掲載
- 下記の3パターンでカスタムが可能
 1. チェックボックス設置（1個/社）
 2. パーミッションテキスト追加
 3. プライバシーポリシーURL併記（最大5本）
- 納品リストのカスタムは別途オプション
- 主催者が提示するパーミッション文言は変更不可

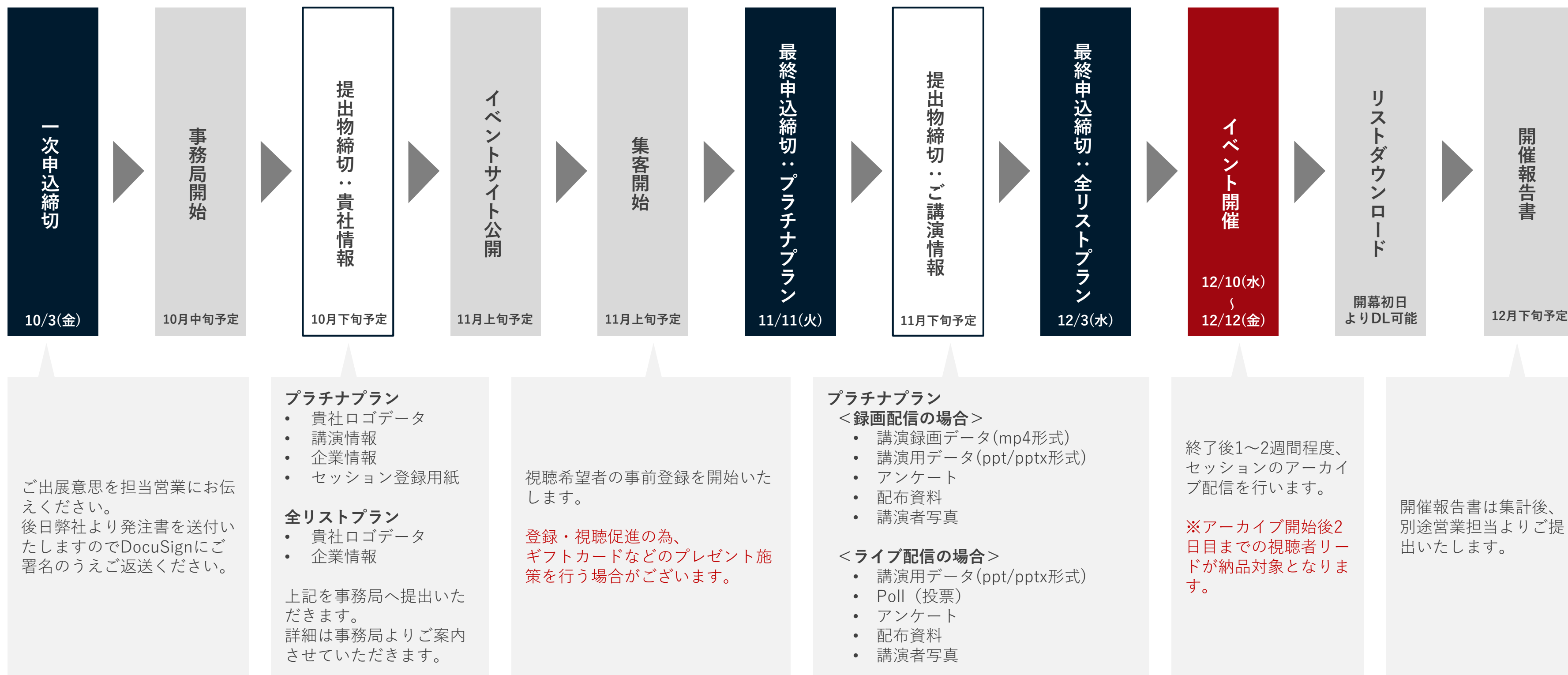
詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-06-02/2d2cgrk

料金 **¥50,000～**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

お申し込みからの流れ

下記スケジュールは目安になります。状況によって変更になる可能性があり、開催決定後に確定したスケジュールをイベント事務局よりご連絡いたします。



※一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性がございます。あらかじめご了承ください。

キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル : 契約金額の50%
開催日40日以内のキャンセル : 契約金額の100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

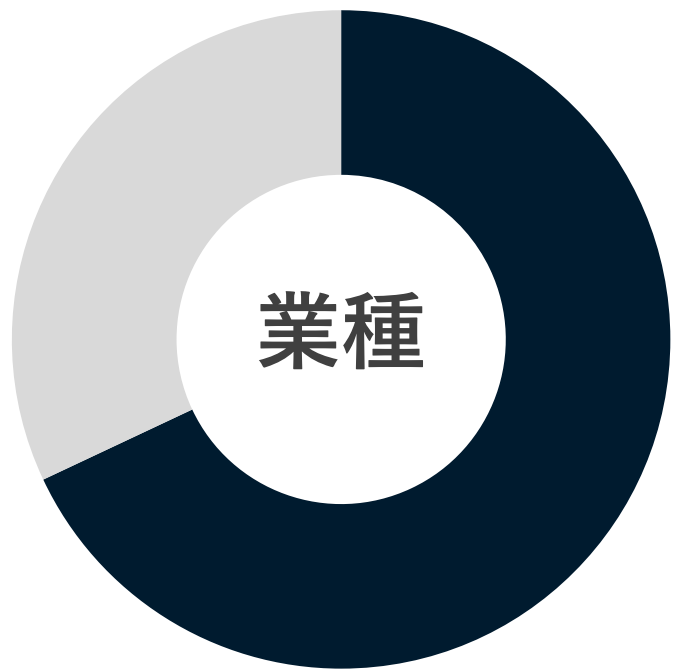
リスク5：視聴側における障害

- 総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
視聴者側の環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
- 総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

MONOist

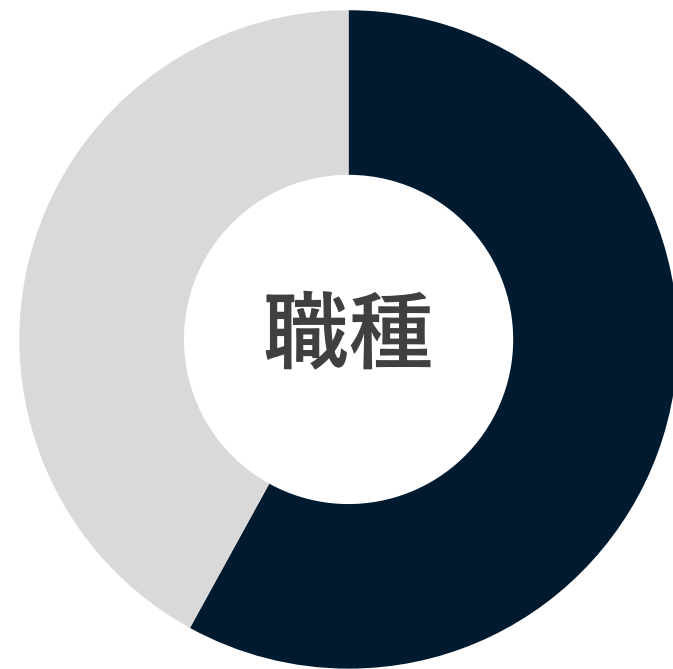
日本の“モノづくり”を支援する専門情報メディア

- 媒体資料 <https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-08-27/r9tr59>
- URL <https://monoist.itmedia.co.jp>
- PV/UB 約180万 PV/月 約60万 UB/月 ※2025年3月実績
- メルマガ配信数 モノづくり総合版 約23.4万通 / 日刊MONOist 約8.3万通



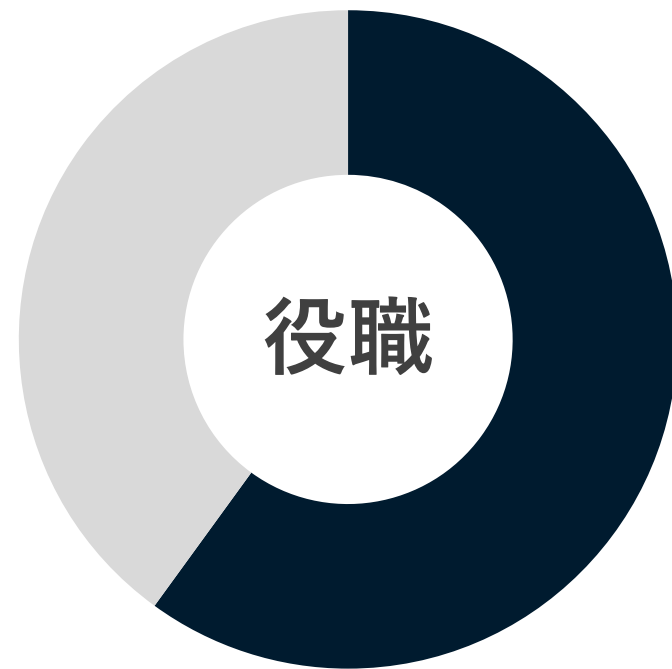
製造業 約**67**%

主な内訳：製造業67.2%,その他32.8%



モノづくり関連職 約**58**%

主な内訳：モノづくり関連職 58.5%,
社内情報システム12.8%



課長クラス以上 約**61**%

主な内訳：課長クラス21.5%,
係長・主任クラス19.8%

※「MONOist読者調査2024」より 調査期間：2024/6/20～7/24 N=675



デジタルイベントに関するお問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル（受付：13F）

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

デジタルイベントの最新情報は[こちら](#)